

知って、つないで、ひろがって

発行
一般社団法人
在宅療養ネットワーク
高松市松島町2丁目12番8号

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

とってあま Day Vol.2

2022年2月2日



ジョウさんの
あそびかた

『とんとんとん なんのおと?』

画用紙に書かれた、ドンドン、バリバリ、ひらりひらりなどのオノマトペの文字の形や、音の雰囲気だけをたよりに、何が裏側に描かれているのかを予想する、クイズみたいなお話です。

ねらい & つぼ

前回の『レオンくんにたべてるの?』と同様、想像力を働かせるお話です。ヒントが、書かれている文字と、読み上げた時の音しかないのです。子ども達は『ん?この音はどこかで聞いたことあるぞ!』と考えを巡らせ、我先に『ハイ!ハイ!』と手をあげ答えてくれます。自分の答えが当たって、『やったー!!』と喜ぶ様子や、にんまり得意そうな顔は、一緒にいる親御さん達も笑顔にしてくれます。

つくった人
参加型紙芝居のジョウ さん

手作りの創作紙芝居や絵本を作っています。児童館や子育て支援センターさん等で読み聞かせをしています。どの作品もゲームやクイズみたいなお話しばかりなので、じっと座ってお話を聴くのが苦手な子でも楽しんでいただけます。御連絡いただければ、事業所やイベントでの出張読み聞かせも承ります。



やっちゃん's スケッチブック

皆さん、こんにちは。
昨年もコロナの影響で自粛期間が長期戦になった1年でしたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。
今回は、公募サイトに応募する為に制作した作品です。
愛知県の青果屋さんからの公募を見つけて、コレは描けそうとピンっとデザイン案が浮かび、応募した作品です。
デザインしたあとにア○パ○マンのキャラクターにいてもおかしくないキャラクターだなと思いました。
これからもどんどん作品を紹介できればと思います。

作品No.002

「セイカマン」

山根 誉与
やまね 誉与



生後3~4ヶ月頃に脊髄性筋萎縮症Ⅱ型(筋力が徐々に低下・萎縮する難病)を発症。
現在は企業のデザイナーとして在宅勤務の日々です。
趣味:音楽を聴くこと 外出すること



ワタシにとっての英雄はこの人! マイヒーロー②

十川美加さんのヒーロー

★前回の天弘千明さんからバトンタッチ!

私にとっての「ヒーロー」は、今の仕事や、人生の転機で影響を受けた恩師やお客さまです。コンサルタントの仕事をするようになったのは、企業研修の講師をしていましたが、1回限りのものだったり、受講生が毎回違って、その人の成長が見られないなど、もっと成長や変化を見届けたいという気持ちが強くなっていった頃、人生かけてお客さんと関わるとはどういうことか?を教えてくださいました恩師がいます。知識や技術的なことはもちろんですが、それよりお客様とどう関わっていくかを教えていただきました。得意分野だけできたらいいのではなく、全てのお困りごとに実際自分がしなくとも相談に乗られるような存在になる、お客様の人生、仕事を丸ごと知ろうとする、寄り添うことが大切なことだと教わりました。つい、自分でこまめで決めてしまいがちですが、丸ごとと思うと、家族のような関わり方になります。手に負えないこともあります、事業の発展を傍で見られたり、困難が大きいほど私自身も人として学びも大きく、豊かな人生を送るきっかけをくださった恩師と、お付き合い頂いているお客様がヒーローです。心からありがとうございます。

そごうみかさん 四国ライフエンディング協会 代表理事
コンサルタント

お心づくしありがとうございます

多くの方々のご厚意に感謝です。ここでご紹介させていただきます。

公益財団法人ベネッセこども基金
紙芝居

日本フィランソロピー協会
テンドーロープ平均台
プレイマット
トイレ手すり(ぞうさん)
おむつ交換台
ゆびえのぐ

明治ホールディングス株式会社
お菓子

メリークリスマス!

香川県立保健医療大学の
学生ボランティアのみなさんが
素敵なラッピングをして
メッセージを書いてくれました

美味しい・楽しい・大好き!

地域のみなさまに
お野菜をたくさん
いただきました!

柳原さんの
さつまいもは
焼きいもに!

一般社団法人 在宅療養ネットワーク

〒760-0068 高松市松島町2丁目12番8号
Tel 087-802-2237 Fax 087-802-2238
<https://ryouyounet.org/>

- 扇ヶアプランセンター (居宅介護支援)
- ゆりかごナースセンター (訪問看護・リハビリ)
- 花ファミリーケア (療養通所介護・生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス)
- ゆずぼっぼ (療養通所介護・生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス)
- ピース相談室 CO+(こーぶらす)
- ゆるぎたるぎ (地域居場所づくり)



ホームページが
できました!



香川県医療的ケア児等支援センター「ソダテル」 始まりました

今年度9月に施行された医療的ケア児支援法の中に各都道府県に医療的ケア児支援センターの設置の文言が盛り込まれています。香川県は全国に先駆けて4月からソダテルを開設。医療・教育・福祉等をつなげる地域連携拠点としての役割を当事業所が担っています。医療的ケアを必要とする方、その家族や支援者のみなさまが、前が見えなくなった時のための窓口です。ここには選択肢があります。地域の手を借りることで霧が晴れていくように目の前が明るくなるかも知れません。香川県内各々地域の力を最大限に発揮し、全ての子どもを大切に育みます。みなさまと一緒にセンターを育ててください。

※当事業は、医療的ケア児等総合支援事業として香川県の委託事業です。



みんなで考え抜いた愛称です！よろしくおねがいします

香川県医療的ケア児等支援センター「ソダテル」
TEL 087-813-0782
https://raiseup.or.jp/
〈受付時間〉月～金 9:00～17:00



メールのご相談はこちら

情報配信サービス「ソダテルねっと」開設

医療的ケア児等やそのご家族、支援者の方向けの情報配信サービス「ソダテルねっと」を開設いたしました！ライフステージに合わせた情報を発信したり、知りたい情報、つながりたいところ等のリクエストにできるかぎりお応えしていきます。この情報、このつながりが災害時などに役立つと考えています。



ソダテルねっとのご登録はこちら

高松市医療的ケア児等支援事業

子どもたちが、保育園や学校での活動を安定して行えるように、医療的ケアの担い手として看護師等が保育教育の現場に訪問しています。医療的ケアだけを行うのではなく、医療を必要とする子どもが、取り巻く環境の多様性を知り、自立に向けて周囲を整える活動と、先生方やお友達とのよいコミュニケーションに向けての活動を並行しておこなっています。活動スタートから2年、保育園を皮切りに、小・中学校、放課後児童クラブでも活動を行うようになりました。医療を必要とする子どもたちにとって、医療的ケアが暮らしを豊かにするために必要なものであることに気づき自立していくことを願っています。

※高松市から業務委託を受けて活動しています。



どうやって声が出るのかな？(気管切開を説明する教材)

地域交流WEBイベント スワローイングランチ会

2021年5月16日(日)

池内紀美

食事に特別な配慮がいるお子さんでも、工夫すれば気軽に食べる楽しみを味わうことはできるはず。そんな思いのもと、嚥下しやすく美味しいメニューを楽しむオンラインイベントを開催しました。メニューはスタッフが検証を重ねてセレクト。郷土食も取り入れた「四国のご当地お土産・S.A.N.U.K.I.Sワロー便」を全国24名の参加者にお届けしました。当日は日常の何気ないひとコマ(おそうめん、ゆがいてみました)がオンラインで繋がり、会話となり、新しい価値観を体感し生み出していきました。歯科医・綾野理加先生の嚥下(スワロー)摂食についてのご講演や、保医大レンジャーの皆様によるサイエンスナレッジも盛況で、「そうだったんだね！」納得の瞬間をみんなで共有。パッと笑顔の花が咲きました。コロナ禍だけど、食べることをテーマにしてこんなに楽しめるという貴重な経験になりました。関係者の皆様、ありがとうございました。

食べることの楽しさが満載！のイベントでした

開催お知らせのチラシ

CO+へコープラスセミナー開催

2021年11月21日(日)

酒井理佳

反応が分かりにくい子どもと正しいコミュニケーションをとるために、まずは子どもの発達段階を正確に見極めることが重要です。CO+高松の個別相談では、個々の発達段階に合わせた課題を中邑先生(東大先端研)に提案していただき、実践とフィードバックを繰り返すことで、子どもに伝わりやすい要素を検証しています。今までは宿題を保護者と在宅療養ネットワークスタッフで実践してきました。が、正しいコミュニケーションは子どもに関わる全ての支援者に必要なスキルです。そこで、子どもに関わる他事業所の方々にご参加いただき、東大先端研との勉強会を行いました。勉強会では、宿題の意図やポイントなどを確認し、多方面の支援者が共通の認識を持って実践していくことで、正しいコミュニケーションの道筋がはつきりして見えてくることを学びました。

【参加者の感想】

「サービスの垣根を越えて、子どもの可能性を引き出していく大切さを感じた。」
「子どもの物に対する興味について、もっと工夫をして接していきたい。」



CO+高松がオープン 中邑賢龍先生

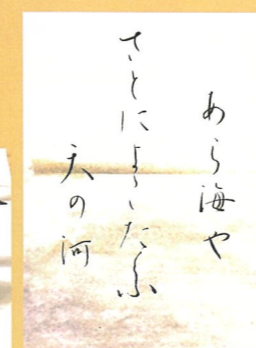
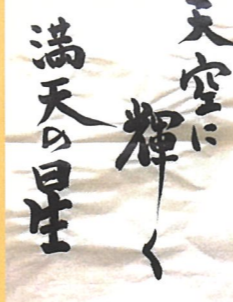
壁面コレクション

立体感を出したり、子供からお年寄りの方まで見て楽しめる壁面を心がけています



※書道ガールズ 家族や親しい人の介護を担う人たちが、息抜きにと始めた「勝ち気まサークル」のお習字グループ

書道ガールの作品



6月の壁掛けボード

リアルなスプーンがポイントです！スイカのタネ(ボンボン)を貼り付けて



梅雨の時期でも、カラフルでポップな色合いで気分も明るく

紙面 de 展覧会

とっておき時間にみなさんが作った作品をご紹介します

ケロ♪

出会うの夏 パラリンピック応援メッセージ取材

カメラマン 白井博

今回のパラリンピック応援メッセージの取材では、選手の方やチームの社会人の方達、顧問の先生や部活を共にする生徒さんに「聴く」ということを大切にしました。お互いを知り、距離を縮めることが良い撮影に繋がる一歩です。

フェンシング代表、阿部選手に宛てた声援を貰いに三本松高校へ行った際は、なんと阿部選手が練習に来ており、本人の前での撮影に！緊張で硬い雰囲気も言葉のイントネーションが可笑しく、笑うたびに空気がほぐれ、皆さん笑顔で楽しいメッセージが撮れました。普段から高校生と一緒に固定された車椅子に乗り、練習されている阿部選手。汗を流す真剣な姿は壮観でした。

卓球の皆見選手の取材は、かがわ総合



リハビリテーションセンターへ。まずは共に練習に参加させて頂きました。球を拾うと「ありがとうございます」「球を拾うのも大変ですね」と言葉を交え、一緒に汗をかきました。高校生から社会人、車椅子に乗った方や片腕の方と幅広い層の方達が台を挟んで切磋琢磨する姿は歳や障害を感じさせません。部員の方から「卓球は健常者と障害者が楽しく出来るスポーツなんですよ」と素敵なお言葉を頂き、一体感を感じた場となりました。

カヌー代表、今井選手に宛てたメッセージは坂出工業高校と坂出高校のカヌー部の生徒さんへ取材をしました。練習場所は府中湖。到着時には選手の皆さんが湖へ出ていたのですが、残っていた選手の方が事情を聞いて先生方や先にいった。インターハイが近く二分一秒が貴重な時期、迅速な対応に感謝しつつ、陸から撮影。先生に船に乗せて頂き水上でも撮影できました。チームワークに助けられた感謝の取材、この思いを表現したくなり、最後に思いっきりオールでカメラに向かって水をかけて頂きました。

応援メッセージ撮影のはずが、気づけば取材班が感化され、

次はどんな出合いがある？ 自分達に出来ることは無いだろうか？ 選手たちへこの思いよ届け！ と思うように。

この夏の思い出は一生の記憶に残ることでしよう。快く取材に応じて頂いた皆様に今一度御礼申し上げます。貴重なお時間をありがとうございました。



パラリンピック 応援メッセージ 動画はこちらから

福祉がいわい 耳より情報

「限度額適用認定証」とは？

知っていますか？
受診するときにお得な情報です！

高額療養費制度では、医療機関より請求された医療費の全額を支払ったうえで申請すると、自己負担限度額を超えた金額が払い戻しされます。しかし、一時的にせよ多額の費用を立て替えることになるため、経済的に大きな負担となります。

あらかじめ「限度額適用認定証」の交付を受け、医療機関の窓口で提示することで、医療機関ごとにひと月の支払額が自己負担限度額までとなります。

※全国健康保険協会より引用

記事：扇ヶアプランセンター 香西

温故知新

張子教室
in 高松市内の小学校

子どもたちの作る奉公さん、それぞれに個性がキラリ☆





みんなが応援したよ!



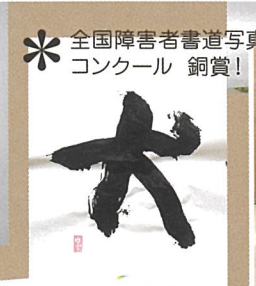
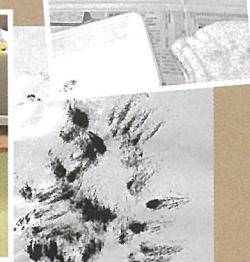
パラカヌー日本代表の今井選手が来てくれました!!



がんばれ日本!!
かわいい声援届いたかな?



お習字にも挑戦!



* 全国障害者書道写真コンクール 銅賞!



あやの先生、お疲れ様です
★食べる機能の獲得



焼き立てパンいかがですか?~?

とっぴまの日常



マジックショーにみんなの目もキラキラ

リハビリセンターからコミュニケーションのお助けマン登場!



学校から先生が来てくれる音楽の時間が大好き!
★chap-chap 訪問教育

